



新潟工場にてエネルギー効率を改善し、環境負荷を低減
～原油換算で1万klの省エネ、温室効果ガス4割削減～

 三菱ガス化学株式会社

2015年8月18日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井敏磨）は、新潟工場におけるエネルギー効率を改善し、一層の環境負荷低減に注力します。

当社新潟工場では1957年以降アンモニアを生産してきましたが、国内需要の減少および装置の老朽化等を背景とし、本年7月末に生産を終了しました。これに伴い、アンモニア生産のために使用されていた高圧スチームの有効利用を図るため、2016年末までに新たにスチームタービン発電機を導入します。また、自家発電装置を更新し、工場内の電力・スチームなどの需要に柔軟に対応できる体制を整えます。

これらの施策により、ユーティリティ設備の能力が最適化されるため、従来は活用しきれなかった工場内のエネルギーを有効利用することが可能となります。

本施策を実施することで、以下の効果が見込まれます。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ・温室効果ガス（GHG）排出量 | ：約4割削減（2014年度比） |
| ・省エネルギー効果 | ：原油換算で年間約1万キロリットル（※） |

（※）約1.3万世帯の年間電力使用量に相当。

なお、これらの施策を通じ年間6億円のコスト削減が見込まれます。

当社は、これからも省エネルギー化やGHGの削減を進め、環境負荷の低減に努めてまいります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

広報IR部 03-3283-5040

〈参考〉

新潟工場について

所在地	〒950-3121 新潟県新潟市北区松浜町3500
主要製品	メタノールおよびそれらの誘導品、アンモニアの誘導品、メタキシレンジアミン、MXナイロン、バイオ関連製品など
従業員数	503名（2015年7月末現在）